

21世紀枠に県推薦されました。

21世紀枠
選抜高校野球

多治見、県推薦校に

県高野連は10日、来春の第89回選抜高校野球大会、21世紀枠の県推薦校に多治見を選んだと発表しました。

多治見は右サイドの工藤河地京太を軸に粘り強さを発揮し、秋季県大会で初優勝。東海大会は準々決勝での初戦敗退だったが、同大会準優勝校

の至学館(愛知3位)に1-2で惜敗した。推薦理由は県優勝、強豪校に惜敗のほか▽学業と野球部活動の両立▽限られた施設、時間の中で創意工夫を凝らした練習で成果につなげている―などが挙げられた。

21世紀枠は各都道府県高野連が1校ずつ推薦、その後、全国9地区でそれぞれ1校に絞られる。出場は3校で9校から東(東海、北信越以東)と西(近畿以西)で1校ずつを、残り7校から地域を限定せずに最後の1校を選ぶ。一般選考の29校(神宮大会枠を含む)とともに、来年1月27日の選考委員会で決まる。

「岐阜新聞(朝刊)平成28年11月11日付掲載」

(この記事は、岐阜新聞社の許諾を得て転載しています)